

食と花の世界フォーラムにいがた 2014 開催実績

1 フードフォーカス in にいがた 2014

○構成

エネルギー資源や水資源などの問題，世界人口の爆発的な増加，地球温暖化への対応や生物多様性の維持など人類生存の根幹に関わる問題がクローズアップされています。資源を消費し，拡大していくことを前提とした，これまでの経済社会システムは大転換期を迎え，持続可能な経済，社会，環境の在り方が世界的な課題となっています。フードフォーカス in にいがた 2014 では，この経済社会の毛機変期に対応し，豊かさを持続できる地域社会を可能にする食の在り方，食産業の方向を考えます。

○事業概要

①コンパスステージ



公開シンポジウム 「食品機能性の最新研究 ～これからの食品の在り方～」

主に食関係産業の関係者を対象に，農業大国オランダにあるフード・バレーの紹介を交え，これからの新潟の食の商品化とブランド化について議論，提案を行いました。

日時：平成 26 年 10 月 31 日（金）

会場：新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセ 4階 マリンホール

②アカデミックステージ



健康と食に関する新潟国際会議 ～健康寿命延伸に貢献する機能性食品研究～

食品化学分野における研究者及び専門家や、食品産業関係者が一堂に会して、機能性を発揮する食品及び天然物による健康増進に関する有意義な論議を行いました。

日時：平成26年10月30日（木）・31日（金）

会場：新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセ 3階 中会議室 301

③ガイダンスステージ



第7回市民公開講座 新潟「食と健康」フォーラム 健康で長生きしましょう

「食と健康」について広く市民に発信することを趣旨とし、学術面の成果を市民に広く還元するとともに市民に食と健康に対する意識を高め、市民の健康増進に寄与することを目的に開催しました。

日時：平成26年11月1日（土）

会場：新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセ 3階 中会議室 301

2 食文化創造都市推進事業（新潟市食文化創造都市推進会議）

(1) 推進会議について

設立 平成 26 年 8 月

会員 64 事業者（平成 27 年 7 月 31 日現在）

役員 議長 村山伸子氏（新潟県立大学教授）

副議長 大坪研一氏（新潟大学教授）

推進委員 12 名（議長、副議長を含む）

目的 市内外の事業者による異業種連携により、新潟市の魅力である「食（食文化）」をさらに磨きあげ、市内外に広く発信するとともに、交流人口の増加や地域産業の活性化に寄与すること。

(2) 推進会議の取り組み

①食文化創造都市推進プロジェクト支援事業

期日 （募 集）平成 26 年 8 月 29 日～10 月 31 日

（事業実施）平成 26 年 11 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

内容 推進会議会員が異業種連携して実施する食・食文化の新たな魅力や価値を生み出す事業を「食文化創造都市推進プロジェクト」として採択し、事業費を助成。

※申請 10 件のうち、9 件を採択。

②第 12 回ポパヤン・ガストロノミー会議への参加

期日 平成 26 年 9 月 18 日～21 日

内容 UCCN（食文化分野）で初の認定都市であるコロンビア・ポパヤン市で開催される食の祭典に、オブザーバー参加し、新潟市の食文化を紹介。

③UCCN 成都総会への参加

期日 平成 26 年 9 月 27 日～28 日

内容 中国・成都市で開催された UCCN 年次総会に候補都市としてオブザーバー参加し、ユネスコ事務局やユネスコ認定都市と交流・情報交換。

④スペイン・オンダリビア市による視察受入



期日 平成 26 年 12 月 3 日、4 日

内容 コロンビア・ポパヤン市にて交流があり、新潟市と同じく UCCN（食文化分野）への登録を目指すスペイン・オンダリビア市による新潟市視察を受入。

⑤新潟・鶴岡 食の共演弁当



期日 （販売期間）平成 26 年 12 月 11 日～平成 27 年 1 月 19 日

内容 新潟市と同じく UCCN（食文化分野）に加盟申請した山形県・鶴岡市と連携し、両市の食を味わえる共演弁当を東京駅など首都圏で限定 10,000 食販売。

⑥食文化創造都市にいがたシンポジウム



期日 平成 27 年 2 月 14 日

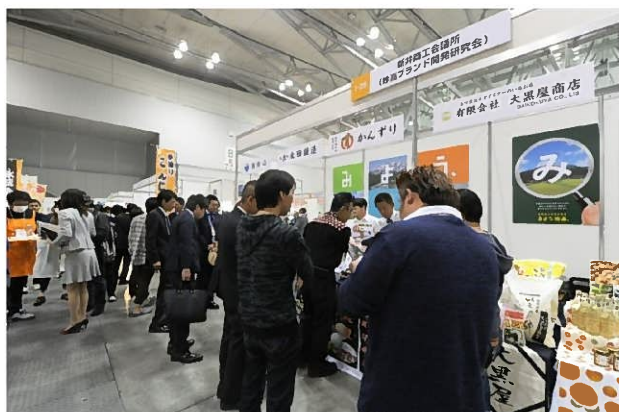
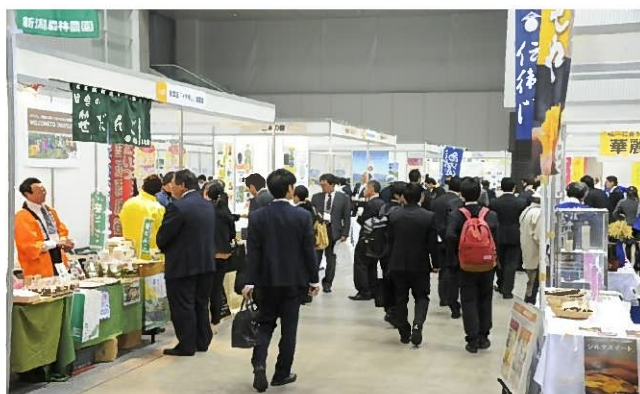
内容 新潟市が 2015 年の東アジア文化都市開催地に選定されたことを受け、日中韓の食文化をテーマに開催。海外から中国、韓国、コロンビアと計 5 都市を招聘。基調講演、パネルディスカッション、ディナーパーティーの 3 部構成で実施。

⑦新潟・鶴岡 食文化の旅

期日 平成 27 年 2 月 15 日

内容 山形県・鶴岡市と連携し、羽越本線（新潟～鶴岡駅間）を舞台に、特別団体列車を運行。車内では両市が誇るシェフ監修のもと、郷土料理や地元食材を使った料理を提供。

3 フードメッセ in にいがた 2014



○開催概要および実績

開催期日：平成 25 年 10 月 30 日(木)～11 月 1 日(土)

会 場：新潟コンベンションセンター『朱鷺メッセ』

主 催：食と花の世界フォーラム組織委員会・新潟市

主 管：(株)新宣・日本食糧新聞社・(株)第一印刷所共同企業体

協 力：(株)北越銀行、(株)大光銀行、(株)日本政策金融公庫、
新潟県商工会連合会

出 展 料：157,500 円(税込)／1 小間(3m×3m 備品パック含む)

出 展 者：249 社(前年 266 社) 236 小間(前年 227 小間)

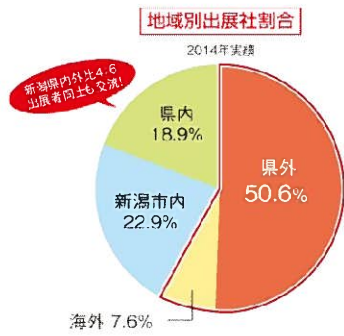
来 場 者：7,553 名(前年 8,103 名)

バイヤーデスク：27 デスク 90 商談実施(2 日間)

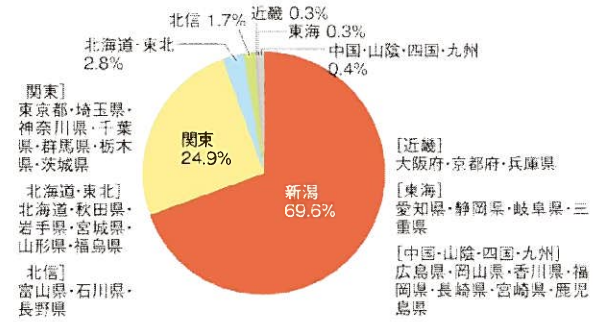
セミナー等：基調講演、シンポジウム×2、セミナー×7 実施(3 日間)

6 次化フェア：19 社 20 案件参加

地域別出展者割合

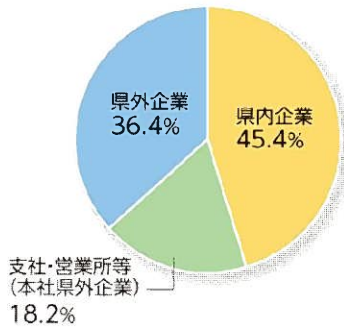


来場者地域分布

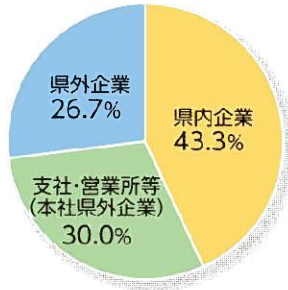


来場者所属

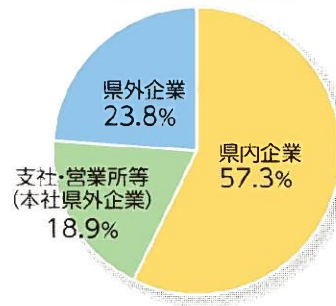
スーパー・CVS



食品商社・卸



食品メーカー



4 花き産業イノベーション事業

(1) CITY GARDEN NIIGATA 2014



①目的

新潟デスティネーションキャンペーン（平成26年4月1日～6月30日。以下、DC）の開催期間中に、新潟の「花」と「食」を来訪者はじめ、広く市民にもPRすることでイメージアップと需要拡大を図る。

②主催・運営

主 催 CITY GARDEN NIIGATA 2014 実行委員会（事務局 株式会社けんとう放送）
共 催 食と花の世界フォーラム組織委員会・新潟市

③事業内容

以下のとおり、4月～6月に会場や内容を変えて開催。

(a) FLOWER FASHION FEST

開 催 日 平成26年4月29日（火・祝）

会 場 NEXT21 アトリウム、万代シティパーク（バスセンター2F）

概 要 古町・万代のファッションビルによる合同キャンペーン。花をテーマに、古町と万代を結ぶ有名モデルのトークショー、アパレルショップや学生によるファッションコンテストなどを実施し、新潟を花とファッションで彩る。

内 容 ・有名モデルによるトークショー、アーティストライブ
（出演者 AMIAYA、住岡梨奈、Rihwa、木下ココ、Rafvery など）
・ファッションコンテスト

- ・限定ノベルティ（花束、商品券など）配布
- ・NEXT21・万代シティパーク花装飾
- ・ラフォーレ原宿・新潟、新潟ALTA、LoveLa等とのタイアップ

集客人数 古町会場 5,417人、万代会場 18,191人

(b) assh×CITY GARDEN NIIGATA2014

開催日 平成26年5月10日(土)・11日(日)

会場 新潟日報メディアシップ

概要 花と食をキーコンテンツとして、会場の4フロアに「親しむ」「学ぶ」「美味しく、美しく」「愉しむ」とそれぞれテーマを設け、食と花の賑わいを創出。

内容 ○「親しむ」1F エントランスホール・スタジオ

- ・トピアリーの体験教室・展示（いくとぴあ食花設置品）

講師 NPO 法人日本トピアリー協会 理事長 宮崎 雅代 氏

- ・母の日向けの花の展示・即売、フラワーギフトづくり

- ・BSN ラジオ「新海史子のLINK」公開生放送…若手花き生産者が出演

○「学ぶ」2F 日報ホール

- ・「新潟県花き振興協議会」設立総会・設立記念イベント

- ・NHK「趣味の園芸」人気講師、ナビゲーターによる
ガーデニングセミナー

講師 矢澤 秀成 氏、三上 真史 氏

○「美味しく、美しく」4F みどりの広場

- ・人気イタリア料理店「パッショーネ」によるフラワーランチボックスなどの販売。

- ・フラワーショップ「花空間むつみ」によるハーブの寄せ植え体験コーナー。

○「愉しむ」20F そらの広場

- ・バルーンパフォーマンス、合唱、ダンスなどのステージイベント

入場者数 2,250人(2日間)

(c) もうひとつのまちあるき プランツ・ウォーク トークライブ

開催日 平成26年6月15日(日)

会場 新潟市万代市民会館

概要 小説家・マルチクリエイターのいとうせいこう氏と園芸家・タレントの柳生真吾氏が始めた緑を探して街歩きをするプランツ・ウォーク。『植物を通じたまちあるき』を通じ、従来とは違った切り口で新潟の魅力を再発見、発信する。

内 容 第1部はプランツ・ウォークにまつわるトークライブ、第2部は新潟市のまちあるき団体（路地連新潟、みち草をする会）を交えてのディスカッションを実施。

参加人数 160人（募集230人）

(d)その他 ※CITY GARDEN NIIGATA 2014の一環として実施。

○花の川

朱鷺メッセ、新潟日報メディアシップ、万代シティパーク、NSTの4会場において、統一テーマのもとでの花絵制作および展示。

○フラワーリボンデイズ(HANA装飾)

事業が実施される万代シティパーク、NEXT21アトリウム、新潟日報メディアシップの各会場をリボンのように結ぶイメージのもと、花で装飾。

○おせんべい研究所

お米の新しい魅力を新たな手法で発信する「VERY Rice!」が開発したお米でできたiPhoneケースや米にまつわる雑貨、食品（甘酒、米粉菓子、おせんべい）を販売。

(2)クリスマスローズ展～別れの季節に贈る花～



○展示趣旨

新潟市食と花の銘産品でもあるクリスマスローズの展示を行うことで、全国有数の花の生産地である新潟市をアピールし、市民への園芸の普及、園芸産業への理解の深化を目的とする。また、クリスマスローズには「私を忘れないで」、「思い出を懐かしむ」などの花言葉があるため、卒業式など別れの季節に贈る花として消費者へ提案する。今回はNHK趣味の園芸講師の金子明人氏を講師に迎えた講演会、即売会等を開催することで展示を盛り立て、集客力もある企画とした。

○主催および協力

主 催 食と花の世界フォーラム組織委員会、新潟県立植物園
協 力 新潟県花き出荷組合クリスマスローズ部会

○概要

期 日 平成 27 年 3 月 21 日（土）～平成 26 年 3 月 29 日（日）

※3 月 23 日（月）は休館日

会 場 新潟県立植物園（新潟県新潟市秋葉区金津 186）【入館料大人 600 円】

開催内容

①観賞温室第 3 室 2 階

- ・クリスマスローズ自然植栽風モデルガーデン（3.6m×5.4m）
- ・解説パネル
- ・寄せ植えコンテナ
- ・品種紹介
- ・金子明人氏相談コーナー（3/22）
- ・クリスマスローズ即売会（3/21, 22, 28, 29）
- ・クリスマスローズ苗プレゼント（3/27, 28, 29 温室入館者各日先着 50 名）

②観賞温室第 3 室 1 階（無料エリア）

- ・押し花カードづくり（3/21, 22, 28, 29）※参加費 50 円

③花と緑の情報センター2 階研修室

- ・金子明人氏特別講座「クリスマスローズを咲かせるコツ」
3/21「ガーデンハイブリッドの育て方」
3/22「原種・交配種の育て方」
※各回定員 50 名，参加費 300 円

○来場者数 ※3 月 23 日（月）は休館日

開催日	天気	来場者数（人）	前回来場者数（人）
3 月 21 日（土）	晴れ	692	-
22 日（日）	晴れ	605	-
24 日（火）	曇り	135	189
25 日（水）	曇り	121	80
26 日（木）	晴れ	174	60
27 日（金）	晴れ	256	81
28 日（土）	晴れ	332	167
29 日（日）	曇り／雨	466	582
合計		2,781	1,159

※前回は 3 月 4 日（火）～ 3 月 9 日（日）に開催

(3) 新潟県花き振興協議会との連携



平成 26 年 5 月 10 日に設立された新潟県花き振興協議会と連携して事業を実施。

○会員

新潟県内花き生産者、流通関係者、小売団体、新潟県、食と花の世界フォーラム組織委員会など

61 個人・団体（平成 27 年 7 月 31 日現在）

○連携事業

- ・ 設立総会、戦略調整会議への出席
- ・ 園芸資材リサイクルシステム検討・実証事業
- ・ テーブルウェア・フェスティバル 2015 における県産花き PR 出展の補助 など